



第38回秋田県生協大会を開催しました

10月14日(金)秋田市のホテルメトロポリタン秋田を本会場に、北秋田市、由利本荘市、横手市の県内全4会場をオンラインで結び開催し、組合員、役職員合わせて70名が参加しました。

三浦貴裕会長理事、来賓の日本生協連 北海道・東北地連 大沢志佳子事務局長の挨拶の後、秋田県、JA 秋田中央会、北都銀行から頂戴したメッセージを披露し、JCA日本協同組合連携機構 常務理事 伊藤治郎氏の講演「コロナ禍における生協・協同組合の価値と可能性」を行いました。

コロナ禍で協働組合が担う役割について、協働組合の価値と可能性や、協働組合連携がもたらすメリット等についてわかりやすく、解説していただきました。



講師 JCA 伊藤治郎常務理事



来賓挨拶 地連 大沢志佳子事務局長



大会決議 田村伸之委員

大会決議は組合員活動協議会の田村伸之委員が読み上げ、「平和への想いを次世代へ継承すること、ウィズコロナの組合員活動を実施し生協らしい人と人とのつながりを作ること、災害による被災者へ今後も支援活動を続けること」が満場一致で採択されました。



本会場の様子



北秋田市会場の様子



由利本荘市会場の様子

2022年度秋冬の灯油配達価格を発表しました

10月7日(金)、秋冬の灯油配達価格の上限(暫定)を102円(1ℓ・税込)と決め、プレスリリースしました。世界的な景気低迷への懸念から原油価格が落ち込んだため、OPEC プラスは大幅減産を決めています。

景気低迷による原油生産量の減産とウクライナ軍事侵攻によるロシアへの経済制裁が影響し原油高が続く中、円安の進行もあり、原油価格の先行きは不透明です。冬の需要期に入り、原油価格は今後も高止まりが続くことが予測されます。

長引くコロナ禍での県民生活応援を最大限に考慮し、できる限り低価格に設定しました。

co-op Press Release

2022年 秋田県生協連の灯油価格について

コロナ禍で世界経済からロシアの経済制裁の影響、世界的な景気低迷が続いており、また、日本や中国など主要国も原油価格の高騰に不安を抱えています。世界的な景気低迷への懸念が広がり、OPEC プラスは大幅減産を決めています。秋田県生協連は、県民生活の安定と健康の確保、価格の上昇を抑えることに取り組んでいます。県民生活の安定と健康の確保、価格の上昇を抑えることに取り組んでいます。県民生活の安定と健康の確保、価格の上昇を抑えることに取り組んでいます。

10月7日(金)決定 暫定上限価格(税込) 1リットルあたり102円(1,836円/18ℓ缶)
※この価格は10月8日以降の当面の暫定価格とします。

【価格設定の理由】
1. 世界的な景気低迷への懸念から原油価格が高止まりのため、OPEC プラスは大幅減産を決めています。
2. 円安の進行により原油価格が高止まり傾向にあり、先行きは不透明です。
3. 県民生活の安定と健康の確保、価格の上昇を抑えることに取り組んでいます。
4. 県民生活の安定と健康の確保、価格の上昇を抑えることに取り組んでいます。
5. 県民生活の安定と健康の確保、価格の上昇を抑えることに取り組んでいます。

※10月7日(金)決定 暫定上限価格(税込) 1リットルあたり102円(1,836円/18ℓ缶)
※この価格は10月8日以降の当面の暫定価格とします。

プレスリリース文

10月8日からの灯油上限価格(消費税込み)は
1リットル=102.0円 (1,836円/18ℓ缶)
ただし、この価格は10月8日以降の当面の暫定価格です。